

厚生労働省

検 疫 所

Quarantine Station



～先輩職員の紹介～

(看護師)

平成30年10月

検疫所 先輩職員の紹介【No.1】

所属

医薬・生活衛生局

生活衛生・食品安全企画課

検疫所業務管理室 室長補佐

(併) 東京検疫所東京空港検疫所支所

氏名

小出 由美子 (平成12年採用)

① 現在の担当業務について

検疫所の業務を円滑に進められるよう、問題の対応や要望等により、業務を円滑にできるように検討し、改善に努めています。

この他、検疫官の研修体制を構築し、年間を通して研修の計画・実施など、職員の育成に関することを実施しています。

② 検疫所を志望した理由

私が入職した当時、検疫官として看護師が在籍していることはほとんど知られておらず、全国でも看護師は13名のみでした。(現在は百数十名)

医療機関で長い間勤務していましたが、医療現場以外で経験を生かせることはないか模索している中で、国内にない感染症を水際で防ぐといった危機管理の分野で、新たな活躍の場として看護師が進出できる可能性があると思い志望しました。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

日常から危機管理の場として、即時対応できるように備えており、感染対策など、看護師の経験を生かせる場があります。また、今までの経験で培ったコミュニケーション能力等を生かして渡航者への健康相談や情報提供を行うなど、その知識や行動力は、検疫所の様々な業務で必要とされています。



④ 趣味や休日の過ごし方

日頃はグルメやショッピング、読書など、のんびり過ごしています。

夏季休暇などの長期休暇では、国内外問わず(最近は温泉でのんびりしていることが多いですが)旅行などで気分転換しています。

看護師へのメッセージ

国内にない感染症を入れない、蔓延させないといった水際での危機管理対策は、日常は目立つ存在ではありませんが、非常に重要な業務を担っています。海外で感染症が流行した際、看護師の知識や判断力、行動力が期待されます。

検疫所は、希望による厚生労働本省や国立感染症研究所等の機関への人事交流など、新たな経験と知識を重ねる場もあり、やり甲斐のある職場です。ぜひ、一緒に働きましょう!

所属 仙台検疫所
検疫衛生課検疫係
主任看護師

氏名 木村 幸子（平成21年採用）

① 現在の担当業務について

感染症が国内に侵入するのを防ぐために、来航者の健康状態を確認することや、渡航前の方の予防接種についての相談・予約を行うことが主な業務です。また、空港や港周辺のねずみや蚊の調査を行う衛生業務も行っていきます。

② 検疫所を志望した理由

元々海外旅行が好きで、海外の感染症に興味があり、海外へ旅行に行く方や外国人の方の助けになる仕事がしたいという事が志望動機でした。

入省し、実際に働くことにより、感染症に関わる仕事のやりがいや、国家公務員としての役割や責任を知ることができました。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

検疫所の業務は、多岐にわたっていることが魅力です。また、全国に転勤があり、初めて住む土地での医療情報や文化なども実践を通して学ぶことができます。全国転勤や外部機関への出向が検疫所で働く上でのスキルアップに繋がりました。



④ 趣味や休日の過ごし方

年に1回程ですが、海外旅行に行くのが趣味です。パッケージツアーではなく、航空券やホテル、現地で観る公演など旅のパーツを組み立てて旅行に行くのが好きです。

看護師へのメッセージ

2020年の東京オリンピックを始め、日本では国際的な行事が数多く開かれます。それに伴い、国民の生命と健康を守る検疫所の役割も更に重要になると考えられます。

皆さんの看護師としてのスキルを充分生かせる職場なので、是非興味のある方は志望していただけたら幸いです。

所属

成田空港検疫所 検疫課検疫係 看護師

氏名

瀬崎 貴子（平成26年採用）

① 現在の担当業務について

国内に常在しない感染症の侵入を防止するための入国者の検疫と健康相談、出国者への渡航先の衛生事情や感染症に関する情報提供、そして黄熱の予防接種の介助等を検疫官として行っています。

② 検疫所を志望した理由

様々なフィールドで活躍できる看護師になりたいと思い、卒業後は大学病院で臨床経験を積みました。その経験を経て、「海外由来の感染症を学びたい」「よりグローバルな視野で感染症に関わり、ステップアップしていきたい」と、臨床の現場から検疫の世界に興味を持つようになり、志望しました。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

行政機関としての手続き的な側面と感染症の可能性を持った方々と接するという臨床的な側面をバランス良く持ち合わせているところです。そして何よりも、看護師としての応用力を求められるところだと思います。検疫所は感染症だけでなく、それ以外の疾患についても知識がないとアドバイスできません。その場で診断したり、治療したりすることはありませんが、疾患の判断材料として臨床での経験が活かされていると考えています。



④ 趣味や休日の過ごし方

体を休めるためにゆっくり過ごすことが多いですが、旅行に行くと伝統的なものや芸術的なものに触れて、日ごろ味わえない感動や刺激を体験するようにしています。休日が楽しく過ごせるからこそ仕事への活力が湧くと思うので、ワークライフバランスの大切さを強く実感しています。

看護師へのメッセージ

現在の自分の専門分野はあると思いますが、それにとらわれず様々な分野に目を向けてください。今まで知らなかった世界に出会えるかもしれませんし、興味のなかった分野の面白い部分を見つけることができるかもしれません。

皆様と一緒に仕事ができることを楽しみにしております。

所属

東京検疫所 東京空港検疫所支所 検疫衛生課 空港検疫看護管理官

氏名 長野 祥子（平成19年採用）



① 現在の担当業務について

空港検疫看護管理官として勤務しています。検疫感染症等の国内への侵入を防ぐという検疫の目的から検疫業務が行われています。検疫所では、多職種の職員が従事しており、バックグラウンドも様々です。法律と医療に関する知識・技術の習得は欠かせないため、職員への育成・指導のリーダー的役割を担っています。

② 検疫所を志望した理由

大学病院で看護師をしていましたが、法律に興味があり法学部に編入しました。卒業後の進路を考えたときに、看護師資格と法律の知識を活かした職に就きたいと考えていました。そんな時、検疫所看護師の活躍知り、今日に至っています。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

検疫所の業務は、多岐にわたっています。船や航空機を間近にした業務、蚊や動物からの感染症を防ぐための調査、デスクワークなど様々です。勤務地も全国になりますが、その地域を楽しみ、職員と交流することで生活が豊かになります。また、人事交流として、外部機関で業務をすることも可能です。様々な機関で業務ができるため、多くの経験を積むことができます。仕事、人間関係を柔軟に対応する力を養う良い機会となります。

④ 趣味や休日の過ごし方

休日は、愛犬2頭を連れてのんびり散歩をするのが楽しみです。

自然や野生動物が好きなので、まとまった休日には、渓谷、溪流に出かけたり、世界自然遺産を巡ったりしています。

看護師へのメッセージ

まずは、看護師として患者と向き合い、臨床経験を積むことが大切です。空港では、外国人の方、乳児から高齢者まで幅広い年齢層の方への対応が必要であり、その中で体調の優れない方への対応、時に救急対応を求められる場面もあります。国の危機管理においては、突発的なことにも柔軟に対応できる力が必要となりますが、大変やりがいのある仕事です。是非、一緒に活躍していただける方をお待ちしております。

所属 **新潟検疫所**
富山空港出張所
看護師

氏名 **保積 亜希子**（平成26年採用）

① 現在の担当業務について

空港と港の検疫業務・衛生業務に従事しています。検疫業務では、海外から来航する航空機や船舶による感染症の有無を確認し、国内に病原体が侵入するのを未然に防いでいます。

衛生業務では、船舶の衛生管理状態を確認し証明書を発行したり、感染症を媒介するねずみや蚊の生息状況を調査したりしています。

② 検疫所を志望した理由

平成14年より2年間青年海外協力隊としてネパールで活動していました。これから海外に渡航する方の、「渡航前にどのような予防接種が必要なのか」「現地で病気にならないために何を注意したら良いか」などの相談に対して、自分の実体験が役に立つのではないかと思います。検疫官を志しました。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

検疫所勤務での魅力は、病院勤務ではできないような様々な経験ができることだと思います。毎日、航空機や船で来航する外国の方と接することができます。また業務の対象が患者だけではなく旅行者全体であるため、海外で流行している感染症を注意喚起して病気を未然に防ぐことができます。



④ 趣味や休日の過ごし方

職場では、年次休暇取得をすすめてくれますので、病院勤務の時と比べて休日は充実していると思います。

休みの日には近場の温泉やヨガに行き、日々の疲れを癒しています。

看護師へのメッセージ

日本を訪れる外国の方や、海外に渡航する日本の方は年々増加しています。国内に病原体が侵入しないように未然に防ぐという検疫官の役割はさらに重要になってくると思います。海外に興味がある方、新しい経験をしてみたい方、少しでも興味をもたれた方、是非、空港や港で一緒に働きましょう。

所属 **名古屋検疫所**
検疫衛生課
検疫係長

氏名 **野間 学**（平成17年採用）

① 現在の担当業務について

看護師長として空港に勤務していましたが、昨年度から検疫係長として港湾で勤務しています。私の主な業務は、外国から来港する船舶に対して、検疫感染症が侵入する恐れがないか審査を行っています。もし、検疫感染症の疑いがあれば、直接船舶に乗り込んで確認を行っています。また、国際航行に必要な証明書を発給するため、船舶の衛生検査も実施しています。検疫係長としては、支所や出張所のとりまとめを行い、本省に報告する業務を行っています。

② 検疫所を志望した理由

国内にない感染症への対策は、国の危機管理として大変重要です。学んできた危機管理の知識を生かし、国民の生命及び健康を水際で守ることができたらと思い、検疫所を志望しました。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

現在は、アフリカでのエボラ出血熱、中東のMERS（中東呼吸器症候群）等の感染拡大が懸念されています。そのため、有事に備えた訓練を毎年実施しています。訓練の企画や立案、関係機関との調整は大変なことですが、やりがいをもって業務を進めています。

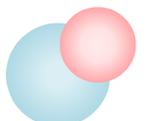


④ 趣味や休日の過ごし方

休日はできるだけ2人のこどもの遊び相手やお出かけなど家族サービスに努めています。

看護師へのメッセージ

検疫所が何をするとところか知らない方も多いのではないのでしょうか。私自身も正直そうでした。少しでも検疫所の業務に興味をもたれた方は、ぜひ一度業務説明会に足を運んでみてください。皆さんと一緒に働ける日が来ることをとても楽しみにしています。



所属 **関西空港検疫所**
検疫課
看護師長

氏名 **北村 千代子** (平成27年採用)

① 現在の担当業務について

海外から日本に入国する全ての来航者に対して健康状態をチェックし、海外から検疫感染症を持ち込ませない水際の対策が重要な仕事です。現場では、サーモグラフィーを用いた発熱スクリーニングや健康相談により渡航先や症状、潜伏期間等から検疫感染症等にかかっているかのアセスメントを行います。検疫所ではその場で治療や薬の処方をする事はできませんが、医師とともに、帰国後の医療機関への案内や注意点等のアドバイスを行います。また、検疫措置が必要になることも想定し、日頃から機内での検疫訓練や防護服の着脱訓練、病院への搬送訓練なども行なっています。

② 検疫所を志望した理由

新興・再興感染症対策の重要性を再認識し、検疫感染症の水際対策に携わりたいとの思いからチャレンジしました。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

検疫所の看護師は検疫官として補職されています。行政機関としての事務的な業務と対面で体調を崩された人と接するという臨床的な業務を兼ね備えており、行政的な判断能力やコミュニケーション能力、また臨床での経験や応用力等を求められる場面があります。水際対策として最前線で働き、そして何より検疫官としての業務が国民の健康と密接に関わっていることを考えると、使命感をもって取り組めるやりがいのある仕事だと思えます。



④ 趣味や休日の過ごし方

休日には創作料理を作ったり、DIYを楽しんだりしています。また、ショッピングに出かけたり、友人とゆったりとした時間を過ごすなど、リフレッシュ出来る時間も大切にしています。

看護師へのメッセージ

東京オリンピック・パラリンピックが開かれる2020年には、訪日外国人を4000万人(クルーズ旅客は500万人)に増やすことが政府の目標に掲げられ、検疫の重要性が増しています。15年前、看護師は本所13ヶ所に各1名しか配属されていませんでしたが、今では10倍以上となり、支所・出張所にも配属され、看護師が活躍できる場所が広がっています。日本国籍、看護師資格、普通自動車免許、3年以上の臨床経験があれば応募可能です。是非検疫所で一緒に働きませんか。皆様の応募をお待ちしています。

所属 **福岡検疫所門司検疫所支所**
検疫衛生課
主任看護師

氏名 **門司 秀陽**（平成21年採用）

① 現在の担当業務について

東京→愛媛→大阪と異動して、今は福岡の門司検疫所支所に所属しています。国外から関門港（北九州と下関）及び北九州空港に来航する船舶や航空機の検疫を行う事が主な業務です。現職場の看護師は私を含めて4名です。入省して10年、主任看護師という立場にもなり各看護師の得意分野をいかせるよう業務の振分けや指導なども行っています。

② 検疫所を志望した理由

病院で10年ほど勤務した後、民間企業で働いていました。自身の今後について考えていた時期に偶然検疫の事を知り、国内に常在しない感染症やその他の感染症に対し、国民の皆様のご生活や健康を守る為に最前線で食い止める仕事に魅力を感じ志望しました。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

船舶や航空機の検疫の他に、感染症を媒介する蚊やねずみの調査、船舶の衛生状態の検査や、黄熱等の予防接種、渡航相談など多岐にわたる業務が一番の魅力です。入省当時は民間から公務員となった戸惑いもありましたが、看護師での経験があったからこそその検疫官の姿を見だし、やりがいを感じています。また、看護師の枠を越えたキャリアアップの道もある事も魅力の一つだと思います。



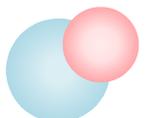
④ 趣味や休日の過ごし方

休みの日は家族で過ごす事が多いです。趣味はドライブで、今は九州に転勤していますので大分や熊本温泉などを家族で巡っています。また、現在所属している課はシフト制で平日休みもあり、一人でのんびり過ごす時間もありますし、学校の行事などにも参加しやすく、仕事と家庭を両立しやすい環境でもあります。

看護師へのメッセージ

検疫官は未知の病気に接触する可能性のある危険と隣り合わせの仕事です。さらに航空機等の移動手段の発達によりその危険は突然来るのが現状です。その中で医療現場で数々の経験をしてきた看護師は非常に頼りになる存在です。

興味を持たれた方！病院等で得た経験や知識を検疫所で発揮してみませんか。



所属 **那覇検疫所**
石垣出張所
看護師

氏名 **桑本 雅彰**（平成29年採用）



① 現在の担当業務について

主に航空機や船舶の検疫業務を行っております。入国してくる乗客をサーモグラフィー等でスクリーニングして感染症の疑いのある人の聞き取り、健康相談を行います。船舶の検疫は、船舶に乗り込んで行う検疫と無線で行う検疫で、船舶に乗り込む検疫は、クルーズ船の場合だと船医への聞き取りも行い感染症の疑いのある乗員乗客がいないことを確認します。また、石垣島は台湾から近いので、ヨットの検疫も多く行います。

有事の際は保健所や消防との連携も大事になるので、顔の見える関係作りも大事な仕事です。

② 検疫所を志望した理由

国内に常在しない感染症が侵入すると国全体が脅かされることとなります。検疫感染症の国内への侵入防止するという使命感に魅力を感じました。また、全国転勤の仕事なので、いろいろな土地に住むことができるのも魅力に感じました。

③ 検疫所の魅力・仕事のやりがい

検疫所では、看護師の仕事は、検疫業務から衛生業務、事務まで多岐にわたります。

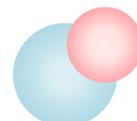
医療・看護の知識だけでなく、多方面の知識が必要となります。知的な好奇心が刺激される仕事です。

④ 趣味や休日の過ごし方

写真を撮るのが趣味で、休みの日はカメラを持って離島めぐりや星を撮りに行っています。

看護師へのメッセージ

検疫所での仕事は病院とは全然違います。普段は定型業務が多く何もないことが日常ですが、決して気を抜くことができない緊張感のある仕事です。ぜひ皆さんも一緒に私達と働いてみませんか。



全国の検疫所所在地

採用等に関する疑問点は、厚生労働省もしくはお近くの検疫所までお気軽にお問い合わせ下さい。

